

～「TAPPY」「キリン ホームタップ」でビール市場のさらなる活性化を目指す～ キリンビール取手工場にペットボトル製造設備を新設

キリンビール株式会社（社長 布施孝之）は、「TAPPY（タッピー）」、「キリン ホームタップ」などの好調を受け、さらなるペットボトル商品の販売数量増加に備えて、キリンビール取手工場（工場長 梶尾伸明）にペットボトル製造設備を新設し、2022年8月の稼働を予定しています。

当社は2タップのサーバーの「TAPPY」および会員制生ビールサービスの「キリン ホームタップ」を今春より本格展開しています。「TAPPY」では飲食店における業務負荷軽減や食品ロスの削減による社会課題の解決に取り組み、「キリン ホームタップ」では「つくりたてのおいしさをお届けする」ことや「ビールサーバーから注ぐ楽しさ」など新たなビール飲用体験をお客様に提供することで、新規事業を通じてビールの魅力化・ビール市場の活性化に取り組んでおり、「TAPPY」は飲食店から、「キリン ホームタップ」は会員のお客様から高く評価いただいています。

今回、2017年3月よりペットボトル商品の製造を開始している横浜工場に続き、関東エリアで2拠点目となるペットボトル製造拠点を取手工場に設けることで、当社の新たな成長エンジンとして「TAPPY」、「キリン ホームタップ」を中心とした新規事業を育成し、ビール市場をさらに活性化していくことを目指します。また、製造能力を確保することで、高品質な当社のペットボトル商品の供給に加え、お客様の需要に対して柔軟に対応しながら着実に製造・配送していきます。

●ペットボトル製造設備概要

1. 稼働開始時期	2022年8月（予定）	「TAPPY」(3L ペットボトル)	「キリン ホームタップ」(1L ペットボトル)
2. 導入工場	キリンビール取手工場 茨城県取手市桑原 188-1		
3. 製造能力	約 50,000KL/年		
4. 投資額	約 36 億円		
5. 製造対象商品	酒類商品の 1L・3L ペットボトル		

●新製造設備の特長

販売が好調なペットボトル商品の製造ラインを新設することで製造能力を確保し、お客様の需要に柔軟に対応できる生産体制を構築します。

<キリンビール横浜工場のペットボトル製造ライン>



<キリンビール取手工場外観>



キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。